

臨床薬理学 1単位 (15時間)

科目目標：1. 代表的な検査・診断・治療薬の知識と管理を理解する。

講 師：森塚宗徳

評価方法：筆記試験により評価する

テキスト：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[3] 薬理学

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
臨床薬理学 総論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物動態 2. 内服薬の内服方法、管理方法 3. 輸液について、輸液の単位 	15	講義	* 点滴の 滴下計算 を行う
薬剤の管理・ 取り扱い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 麻薬 2. 向精神薬 3. 劇薬 4. 毒薬 5. 抗がん薬 6. ワクチン 7. 消毒薬 			* 消毒液 の濃度計 算を行う
検査、診断薬	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射性医薬品 2. X線造影剤と造影補助剤 			
医薬品の安全 管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品による事故事例 2. 混合の可否 3. 禁忌（危険薬） 4. 保存方法 			

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
服薬指導	1. 服薬指導の目的 2. 服薬指導の実際 1) 服薬指導をおこなう上での心得 2) 服薬指導の内容 3) 服薬指導の方法と実例 (睡眠鎮静・抗不安剤、抗てんかん薬、強心薬、 気管支喘息治療薬、内分泌系用薬、抗悪性腫瘍薬、 抗生物質) 3. 高齢者に対する服薬指導 4. 小児に対する服薬指導 5. 妊婦・授乳婦に対する服薬指導			
薬物治療管理 (TDM)	1. 薬物血中濃度測定の意義 2. TDMの管理形式 3. TDMが行われている主な薬物の中毒症状 4. TDMが行われている薬物の血清中濃度に影響を及ぼす 薬物とその作用機序 5. TDMが必要とされる薬剤の特徴 6. TDMが必要な代表的医薬品 (ジゴキシン、テオフィリン)			
薬剤管理の 実際	1. 院内薬局の見学			* 薬局の 薬剤管理 の実際を 見学する